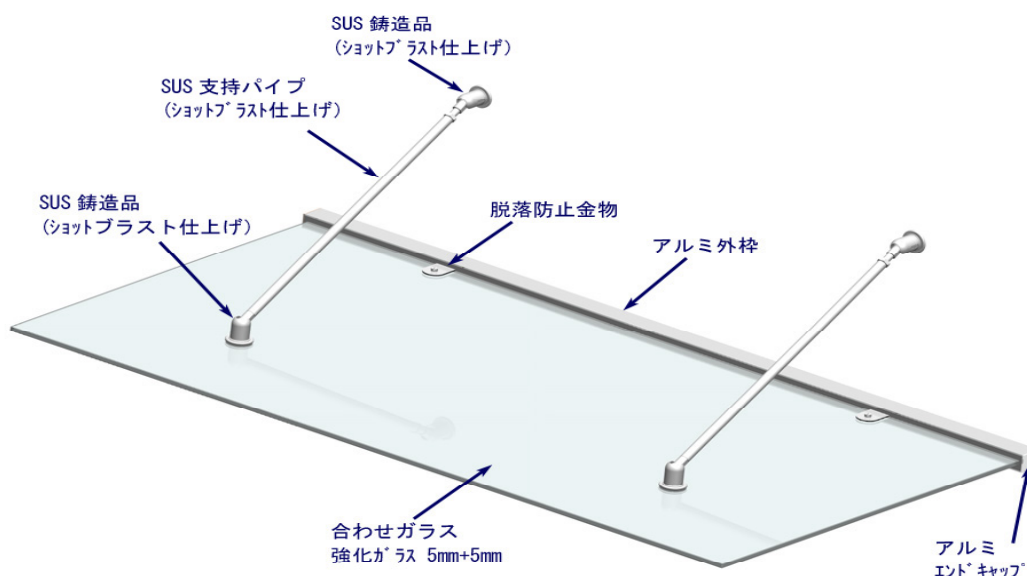


■ 安全なガラス底の選び方

建物の外部に設置される底には、常に風・熱・地震・積雪等の外力を受け続けており、これらの外力に対する十分な検討と安全対策が必須条件となります。特にガラス底の採用を検討する場合、ガラス面材に無理な力がかからないように各部が可動（回転）できる構造的であることを確認する必要があります。

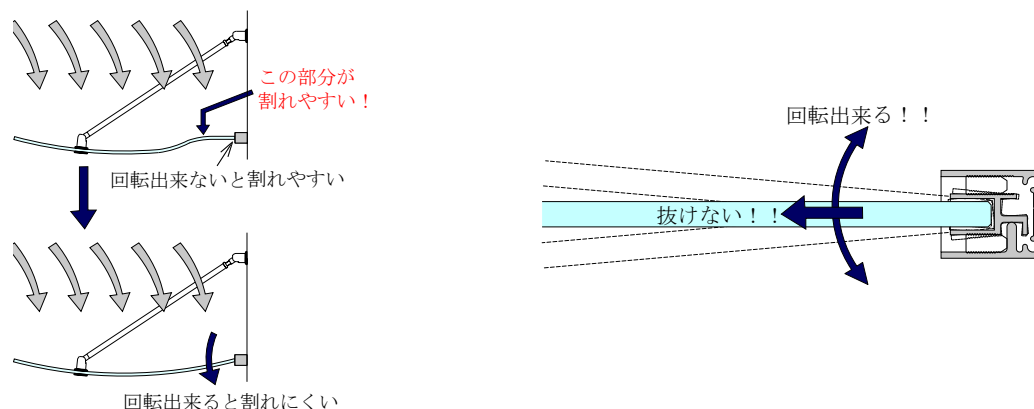


4-2、ガラスが割れにくい仕組みの検討

キトラは、アルミ枠内部で回転出来る構造になっています。（発生応力が少ない構造）

このようにスムーズに回転出来て、しかもアルミ外枠から抜け落ちない安全設計が重要です。

先端部の DPG 金物部は発生する撓み方向に対して、どの方向にも回転できる構造となっています。



上記は、弊社技術レポートの抜粋です。ガラス面材とアルミ外枠が固定されている場合、ガラス面材に無理な力がかかり破損の可能性が高くなります。さらにガラス面材とアルミ外枠がシール処理のみの場合、ガラス面材が脱落する危険があります。弊社のキトラ底は、上記以外にもガラス面材に無理な力がかからない構造を採用しています。

詳しくは、弊社ホームページの技術レポートをご覧の上、安全なガラス底のご検討にお役立てください。